



ファーツリー、JR 九州の潜在力を最大限発揮するため、同社宛提出した株主提案について 声明を発表

--取締役会の構成、コーポレート・ガバナンス、資本配分に関する決定についての同社の公
表を歓迎するが、更なる変化が不可欠--

【ニューヨーク／東京 - 2019年5月20日】九州旅客鉄道株式会社(証券コード:9142、以下「JR九州」または「同社」)の発行済株式の約6.1%を実質的に保有している旨2019年3月22日付け大量保有報告変更報告書において開示済のファーツリー・パートナーズ(以下「ファーツリー」)は、2019年6月21日に開催されるJR九州の定時株主総会(以下「本定時株主総会」)へのファーツリーの株主提案に関して、以下の声明を公表しました。

また、ファーツリーは、本日、ステークホルダーの皆様へJR九州へのエンゲージメントに関する追加的な情報を提供するために、専用のウェブサイト(www.ABetterWayforJRK.com)を公開しました。JR九州に関する投資家向けプレゼンテーションも同ウェブサイトにて閲覧可能です。

5月13日、JR九州は、コーポレート・ガバナンスに関する同社の最新情報を開示し、あわせて、ファーツリーの提案に対する同社の意見を明確にしました。ファーツリーは同社公表内容のいくつかの要素を歓迎しておりますが、更なる変化が必要だと考えています。

とりわけ、ファーツリーはJR九州による以下の前向きな動きについては以下に記載の通り着目しています。

1. 本定時株主総会での選任に向けた2名の新任社外取締役候補者の決定 - 取締役会における外部視点の受け入れに対する率直な取組姿勢の表れ
2. 業績連動型株式報酬制度の導入 - 取締役会における業務担当取締役を含む経営陣に株主とのより強固な利害の一致を提供

しかしながら、手つかずの課題はまだ数多くあります。5月13日のJR九州による発表後の株価の反応や証券アナリストたちのコメントは、当該公表が期待外れであったことを明確に示しています。この株価下落は、競合他社比較での低調な株価の推移に連なる動きです。

ファーツリーの株主提案は、およそ3年にわたる綿密な取り組みに基づくものです。ファーツリーは、株主提案に際して、不動産、運輸、およびコーポレート・ガバナンスの各分野の専門家やコンサルタントと協働し、その株主提案が合理的であり、かつ、全てのステークホルダーのニーズとのバランスをとった



ものとなるよう尽力してまいりました。鉄道旅客の安全性の継続的な確保に向けて JR 九州の確固とした資本政策に高い財務上の柔軟性を提供することは、その一例です。

ファーツリーの提案では、以下の重要課題への対応を求めています。

1. 非効率な資本構成に起因する高資本コストと低い自己資本利益率(ROE)

- ファーツリーの提案: 負債性の資金調達を活用し、発行済株式の 10%を買い戻す

2. コーポレート・ガバナンス

- ファーツリーの提案: 指名委員会等設置会社への移行

3. 取締役会と会社の業績との間における目標設定の方向性の一致についての疑義

- ファーツリーの提案: 取締役会を構成する取締役に対して株式報酬制度を実施し、各取締役に対して、同社の将来に対する明確かつ相応の利害関係を付与し、同社の長期的な業績向上と各取締役のインセンティブを直接的に連動させる

4. 取締役会における業界専門知識の不足

- ファーツリーの提案: 取締役会に業界専門知識を有する 3 名の独立社外取締役を選任

上記株主提案についての詳細は、ファーツリーのウェブサイトをご参照ください。

www.ABetterWayforJRK.com.

ファーツリーのマネージング・ディレクター兼パートナーを務めるアーロン・スターンは次の通り述べています。「ファーツリーは、JR 九州が最近開示した公表内容については、同社宛て提出した株主提案で当社が申し上げた事柄や推奨内容を一定程度踏まえ、反映したものとなっている点において評価しています。特に、JR 九州が取締役会における社外取締役の増員と、取締役や経営陣への自社株報酬制度の導入に向けて動き始めたことを嬉しく思います。しかしながら、同社との数年間にわたるエンゲージメントをふまえると、当社が指摘した課題に十分に対応するには、更なる変化が必要であると固く信じています。」

「ファーツリーとしては、我々が提案した高度な専門知識を有する 3 名の社外取締役候補者に反対すると JR 九州が判断したこと、とりわけ、ファーツリーが同社と前向きな対話を実施し、かつ、その後に同社が我々の提案にかかる取締役候補者と我々の理解するところでは非常にポジティブな議論を行った後に、同社によってかかる選択がなされたことを残念に思います。これらの候補者は、極めてプロフェッショナルで、日本との強固な個人的つながりを有し、不動産、コーポレートファイナンス、M&A や



コーポレート・コミュニケーションなど、同社が成功するために不可欠であると我々が信じる特定の分野で目覚ましい経歴を有しています。この3名は、選任された暁には、JR九州の長期的な潜在力を増大させることに尽力し、同社が成長への道程を継続して歩むようサポートしてまいります。」

「我々は、コーポレート・ガバナンス・コード上のベストプラクティスをしっかりと取り入れ、株主へのリターンと将来投資との十分なバランスをとるような取締役会こそがJR九州の全株主が享受するに値するものであると引き続き信じています。」

「他の株主の皆様と、当社の考えや当社取締役候補者について引き続きお話をすることを心待ちにしています。」

ファーツリー・パートナーズについて

ファーツリー・パートナーズは、1994年に設立され、ニューヨーク（本社）およびマイアミを拠点として、基金、慈善財団、年金基金およびその他機関投資家・民間投資家のために投資活動を行う、価値志向の投資運用会社です。当社は、多種多様な資産クラス・業界・地域に関して機会主義的なアプローチを用いて成功を収めており、日本では10年ほど前から積極的に投資活動を行ってきています。ファーツリー・パートナーズは、日本のスチュワードシップ・コードに対応しております。

重要事項

このプレスリリースは、来たるJR九州の定時株主総会（以下「定時総会」）での取締役の選任やその他の議案に関して、ファーツリーの株主提案への同意の依頼や、ファーツリーもしくは第三者に対する議決権の代理行使の依頼または勧誘の為に準備されたものではなく、そのように解釈されるべきものではありません。ファーツリーは、JR九州の他の株主に対して、定時総会への出席もしくはJR九州より送付される株主招集通知に同封される議決権行使書を用いて、JR九州の一定の提案には反対票を投じファーツリーの提案には賛成票を投じることを推奨することを目的としています。このプレスリリースは、JR九州の他の株主に対して、ファーツリーもしくは第三者に対して議決権行使の代理権限を付与することを依頼、勧誘、推奨、説得、もしくは要求する為に準備されたものではなく、そのように解釈されるべきものではありません。



Fir Tree Partners

このプレスリリースは、ファーツリーの自らの分析および JR 九州により公開された情報のみに基づくものです。



投資家連絡先:

Scott Winter / Gabrielle Wolf
Innisfree M&A Incorporated
+1 (212) 750-7271

メディア連絡先:

日本

アンダーウッド、塩加井、マス
アシュトン・コンサルティング
+81 3 5425-7220
FTPR@ashton.jp

米国

Sloane & Company
Dan Zacchei / Joe Germani
+1 (212) 486-9500
dzacchei@sloanep.com / jgermani@sloanep.com